



教えて!
Doctor
ドクター

テーマに関する素朴な疑問に
循環器内科の専門医がお答えします

Q&A

監修：総合大雄会病院
副院長
寺沢 彰浩 医師

心不全編

Q 心不全の原因となる病気について
教えてください。

A 心不全は心臓のポンプ機能が低下して起こりますが、
その原因には下記の病気があります。

- ・高血圧 ・虚血性心疾患 ・心筋症 ・弁膜症
- ・心臓の構造異常による先天性心疾患など
- ・不整脈 ・全身疾患に伴う心臓病



Q 心不全を予防するためには何が必要でしょうか？

A 心不全発症予防には、心臓の働きを悪くする要因を取り除くことが重要です。

- ①高血圧、糖尿病、コレステロール高値などの脂質異常症の治療をする
- ②禁煙 ③適度な運動 ④減塩や栄養の取り過ぎに注意し、太らないようにする
- ⑤薬物療法を確実にを行う

心不全は繰り返し再発することで進行します。また、心不全を繰り返すとその治療は次第に
困難になります。したがって、心不全の再発予防もきわめて重要です。

- ①規則正しい生活を送る ②塩分水分を取り過ぎないようにする
- ③風邪をひかないようにする ④薬物療法を確実にを行う

施設紹介



総合大雄会病院

総合大雄会病院
〒491-8551 一宮市桜一丁目9番9号
☎0586-72-1211(代)

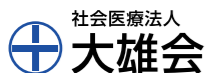
大雄会第一病院
〒491-8551 一宮市羽衣一丁目6番12号
☎0586-72-1211(代)
健診センター ☎0586-26-2008(直通)

大雄会クリニック
〒491-8551 一宮市大江一丁目3番2号
☎0586-72-1211(代)

老人保健施設アウン
訪問看護ステーション・アウン
〒491-0101 一宮市浅井町尾関字同者165
老人保健施設アウン ☎0586-78-1111
訪問看護ステーション・アウン ☎0586-51-0031

新生訪問看護ステーション・アウン
〒491-8551 一宮市桜一丁目15番19号
☎0586-28-5633 FAX 0586-28-5634

大雄会ルーセントクリニック
〒451-6003 名古屋市西区牛島町6番1号
名古屋ルーセントタワー3F ルーセント・ウェルネスセンター内
健診センター(フリーコール) ☎0800-500-1211
外来 ☎052-569-6031



企画・発行：社会医療法人大雄会 経営企画課
☎0586-24-2565 | pr1@daiyukai.or.jp

だいゆうかい

検索



社会医療法人大雄会

地域健康情報誌 [テ・ア・テ]

Te・A・Te



特集

心不全について

撮影地：一宮市博物館

心不全について

日本の循環器疾患の死亡数はがんについて第2位となっています。その約40%は心不全によるものとされています。今後、さらなる高齢化社会を迎えようとしている中で、心不全で入院される方の数や心不全による死亡率は年々増加の一途をたどっています。



総合大雄会病院 副院長 寺沢 彰浩 医師

心不全とは

心臓が悪いために、息切れやむくみが起こり、心機能が徐々に悪化して、生命を縮める病気です。

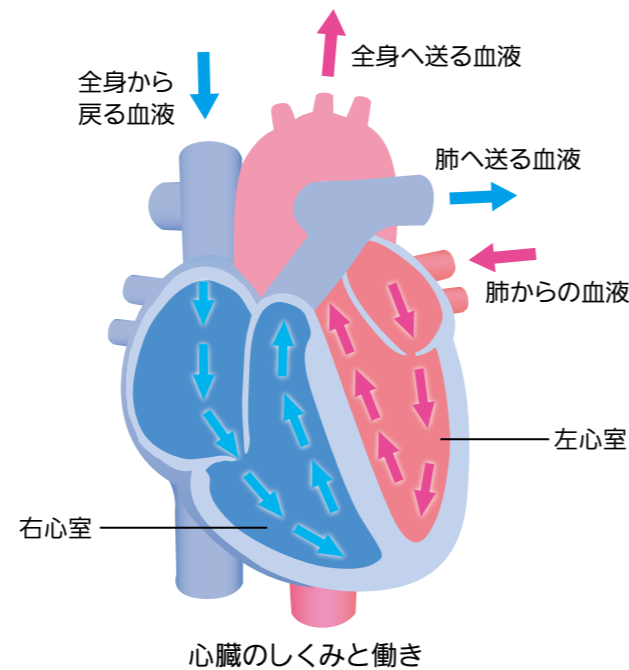
心臓は酸素や栄養分を含む血液を全身へ送り出すポンプの役割を果たしています。心臓が十分な酸素や栄養分を全身に送れなくなった状態が心不全です。心不全には、「慢性心不全」と「急性心不全」があります。

慢性心不全

心不全の状態が続き、徐々に症状が悪くなり日常生活に支障を起す。

急性心不全

急速に心臓機能が悪化して症状や検査での所見が見られる状態や慢性心不全がなんらかのきっかけで急速に悪化する場合(慢性心不全の急性増悪)。



心不全の症状

初期に見られる症状は運動時の息切れや、両足のむくみです。息切れは、今までは感じなかった運動で感じる様になったりします。また、自分と同年代の人と同じ様に行動できず、自分だけが息苦しいと感じて気がつくこともあります。また、疲れやすいという症状もあります。このような息切れやむくみ、疲れやすいという症状は、心臓病以外でも出現することがありますので、おかしいなと思ったら医療機関で相談されることをお勧めします。



心不全の治療

① 心不全そのものに対する治療

安静と薬による治療が中心となります。症状が出たり、心不全が急に悪くなったりした際に、患者さんの状態に合わせて心臓の負荷を減らして心不全をコントロールします。内服薬のみで治療できる場合と、点滴を必要とする場合があります。さらに心不全を今後悪化させない、薬物療法を行います。重症の心不全には、補助循環といった機械や、ペースメーカを用いた治療を行うことがあります。さらに重症の場合は、人工心臓や心移植を行う場合があります。

② 心不全の原因となる心臓病の治療

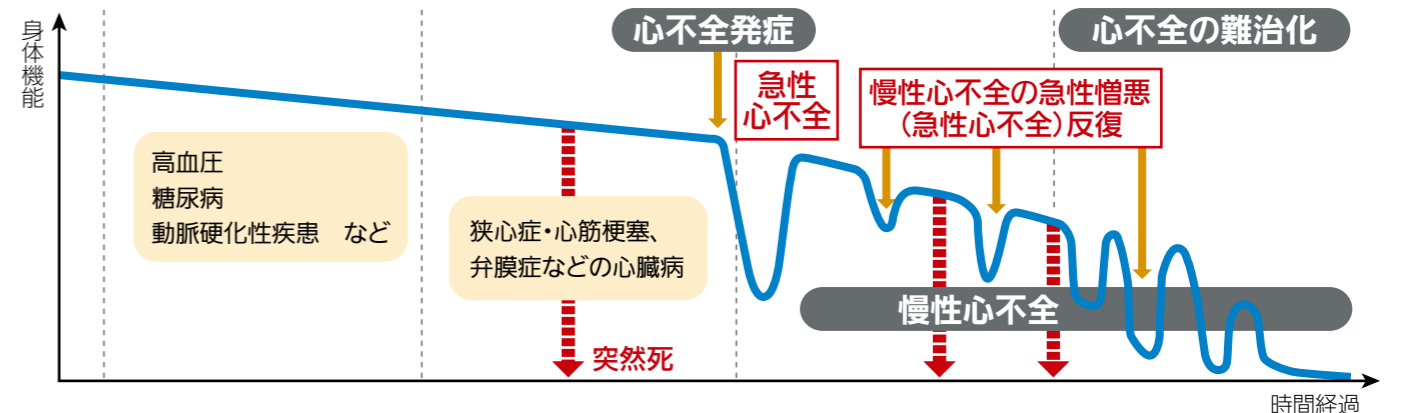
主に狭心症・心筋梗塞、心筋症、心臓弁膜症などの治療です。

例えば狭心症・心筋梗塞(虚血性心疾患)ならば、詰まったり狭くなったりした冠動脈をカテーテルにより拡張する冠動脈形成術や冠動脈バイパス手術、心臓弁膜症ならば、心臓手術による弁形成術や人工弁置換術などを行います。

③ 心不全を発症または悪化させた要因に対する治療管理

心不全を増悪させた要因、例えば過労や水分の取りすぎなどに対する生活習慣の改善や増悪因子となった疾患、例えば肺炎などの感染症などの治療も重要です。

心不全経過のイメージ



たとえ心不全を発症しても、適切な治療によって多くは一旦、症状が改善します。しかし、心不全そのものが完全に治ることは無く、症状がぶり返すことがあります。このような悪化と改善を繰り返しながら心不全は徐々に進行していきます。患者さんによりかなり違いはありますが、一般的には心不全で入院したことのある方は平均で5年間に約半数の方が亡くなると言われています。

終わりに

心不全を発症した場合でも、早期発見に努め、生活習慣の改善や、適切な薬物療法、罹った心臓病に対する内科的、外科的治療、リハビリを行うことにより、心不全の再発を予防し、心不全の経過を改善できることが明らかになっています。当院では、循環器内科、心臓外科の医師のみでなく、看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士など多職種がチームとして心不全診療に従事しています。お気軽にご相談ください。